

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成25年7月18日(2013.7.18)

【公開番号】特開2012-224636(P2012-224636A)

【公開日】平成24年11月15日(2012.11.15)

【年通号数】公開・登録公報2012-048

【出願番号】特願2012-166700(P2012-166700)

【国際特許分類】

A 6 1 K	39/395	(2006.01)
A 6 1 K	48/00	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 P	31/04	(2006.01)
A 6 1 P	11/04	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	31/06	(2006.01)
A 6 1 P	17/00	(2006.01)
A 6 1 P	27/02	(2006.01)
A 6 1 P	1/04	(2006.01)
A 6 1 P	13/12	(2006.01)
A 6 1 K	39/09	(2006.01)
A 6 1 K	39/02	(2006.01)
A 6 1 K	39/04	(2006.01)
A 6 1 K	39/00	(2006.01)
A 6 1 K	39/39	(2006.01)
C 1 2 N	15/09	(2006.01)
C 0 7 K	14/00	(2006.01)
C 1 2 N	1/15	(2006.01)
C 0 7 K	16/14	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	39/395	D
A 6 1 K	48/00	
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 P	31/04	
A 6 1 P	11/04	
A 6 1 P	29/00	
A 6 1 P	31/06	
A 6 1 P	17/00	
A 6 1 P	27/02	
A 6 1 P	1/04	
A 6 1 P	13/12	
A 6 1 K	39/09	
A 6 1 K	39/02	
A 6 1 K	39/04	
A 6 1 K	39/00	K
A 6 1 K	39/39	
C 1 2 N	15/00	A
C 0 7 K	14/00	
C 1 2 N	1/15	
C 0 7 K	16/14	

【手続補正書】

【提出日】平成25年5月30日(2013.5.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

- グルカンおよび細菌トキソイドを含む結合体。

【請求項2】

細菌トキソイドがCRM₁₉₇である、請求項1記載の結合体。

【請求項3】

- グルカンがラミナリンである、請求項1記載の結合体。

【請求項4】

- グルカンがラミナリンである、請求項2記載の結合体。

【請求項5】

- グルカンがpusチュラン(pustulan)である、請求項1記載の結合体。

【請求項6】

- グルカンがpusチュラン(pustulan)である、請求項2記載の結合体。

【請求項7】

- グルカンおよび細菌トキソイドを含む結合体であって、 - グルカンが、

(a) 100kDa未満の分子量を有する - グルカンポリマーであり、

(b) 1つ以上の - 1, 3 - 結合および / または 1つ以上の - 1, 6 - 結合を含み

(c) (i) プロテアーゼ処理された真菌細胞、(ii)マンノタンパク質を欠失した真菌細胞、または(iii)純粋なグルカン由来のグルカンであり、かつ

(d) CRM₁₉₇と結合体化されており、

該結合体が哺乳動物に投与された際、該結合体は真菌病原体に対する保護抗グルカン抗体を惹起するが、抗グルカン抗体の保護効果を抑制する抗体を惹起しない、結合体。

【請求項8】

- グルカンが1つ以上の - 1, 6 - 結合を含む、請求項7記載の結合体。

【請求項9】

- グルカンが分枝している、請求項7または8記載の結合体。

【請求項10】

- グルカンが真菌 - グルカンである、請求項7～9のいずれか一項記載の結合体。

【請求項11】

- グルカンがプロテアーゼ処理された真菌細胞の形態である、請求項7～10のいずれか一項記載の結合体。

【請求項12】

- グルカンがCandidaの細胞壁由来である、請求項7～11のいずれか一項記載の結合体。

【請求項13】

CandidaがC. albicansである、請求項12記載の結合体。

【請求項14】

- グルカンがラミナリンである、請求項7～13のいずれか一項記載の結合体。

【請求項15】

請求項1～14のいずれか一項記載の結合体および薬学的に受容可能なビヒクルを含む、ワクチン組成物。

【請求項 16】

アジュvantをさらに含む、請求項 15 記載のワクチン組成物。

【請求項 17】

抗真菌剤をさらに含む、請求項 15 または 16 記載のワクチン組成物。

【請求項 18】

請求項 1 ~ 14 のいずれか一項記載の結合体を調製する方法であって、以下の工程：

- (a) - グルカンをアミノ化する工程；
- (b) 該アミノ化された - グルカンを精製する工程；
- (c) 該精製された - グルカンを活性化する工程；および
- (d) - グルカン / 細菌トキソイド結合体が得られる条件下で、該活性化された -

グルカンを細菌トキソイドと結合させる工程

を含む、方法。

【請求項 19】

- グルカンがラミナリンである、請求項 18 記載の方法。

【請求項 20】

- グルカンがpuschulan (p u s t u l a n) である、請求項 18 記載の方法。